

## 東温支部

### 1 教職員研修（夏季実技研修会）について

平成24年8月7日、東温市立川上小学校において、情報教育委員会・視聴覚教育委員会合同夏季実技研修会を行った。

#### (1) フューチャースクール体験

富士通株式会社より講師を招き、タブレットパソコン（以下TPC）を使った模擬授業を行った。TPCを使って漢字の書き取り問題や計算、東温市についての写真入りの問題を解いてみた。TPCの活用によって、興味・関心を高めるとともに、学習の効率化と個別指導が可能であることを体感することができた。

また、自分たちが考えたものをTPCで表現し、それを、そのまま電子黒板に映すので、班でまとめて黒板に貼り付けたり、黒板に書いたりする時間が短縮され、児童生徒が考える時間をより多く確保できることを実感した。また、グループやクラス内で問題を共有しながら、課題解決のための学び合いにつなげるよいツールであることが分かった。

災害対応マップの作成も行った。それぞれのTPCで作った情報を1枚のマップに集約して作ることができた。TPCを使った協働学習によって、児童生徒の説得力・表現力を培うことができる。



#### (2) 活用すれば授業が変わるICT活用の実践

iPadやiPhoneのミラーリング機能を使うと、テレビやプロジェクタを電子黒板のように使うことができる。内蔵カメラやマイクなども有効に使うことで、今まで使われていた機器を置き換えて使うことができる。※参考「iPadとiPhone4で教師の仕事を作る」

TPC等の機器はなかなか導入できにくいのが、無料で使えるサイトの紹介を行った。「Flash 学習教材集」や「イリュージョンフォーラム」「学力向上ワークシート」等サイトの紹介をし、リンク集を配布して活用できるようにした。

### 2 今後の課題

○ TPCの活用は、楽しく意欲的に学習できたり、自分の考えをまとめて表現する力を育てたりする学習においては高い評価を得ることができるが、学習した内容を整理して覚えることや新しい考えや決まり、方法、法則などを見つける点においては評価が低いということが分かる。新しいICT利活用について知り、そのよさを生かした子どもたちの学びを創造していかねばならない。

○ 適切なコンテンツを使うことで、電子黒板を使って効果的に指導をすることができる。そのために、各校で研究を重ね、毎日電子黒板を使って指導の充実が図られるようにしなければならない。

○ 子どもが初めて手にするネット接続機器は「ゲーム機」とあるという調査結果が出ている。新しい危険が児童生徒に迫っている現状を的確に把握し、これからの情報化社会を生き抜いていくスキルを身に付けさせるための指導について、さらに研修を充実させていかねばならない。

